

各位

上場会社名 ウライ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 裏井 紳介  
 (コード番号 2658)  
 問合せ先責任者 取締役総務統括本部長 齊木 正一  
 (TEL 075-361-0330)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	0	△20	△20	△1.86
今回修正予想(B)	4,892	△9	△23	△32	△3.03
増減額(B-A)	△208	△9	△3	△12	
増減率(%)	△4.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,431	△26	△41	△284	△25.92

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,600	120	70	60	5.59
今回修正予想(B)	10,300	100	60	50	4.66
増減額(B-A)	△300	△20	△10	△10	
増減率(%)	△2.8	△16.7	△14.3	△16.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	11,066	89	59	△176	△16.22

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	20	0	△20	△1.86
今回修正予想(B)	4,752	9	△23	△32	△3.01
増減額(B-A)	△248	△11	△23	△12	
増減率(%)	△5.0	△55.0	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,298	△9	△17	△285	△25.97

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	130	90	60	5.59
今回修正予想(B)	10,000	130	60	50	4.66
増減額(B-A)	△300	0	△30	△10	
増減率(%)	△2.9	—	△33.3	△16.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	10,740	97	78	△177	△16.24

修正の理由

1. 当第2四半期連結累計期間の業績予想の修正について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの回復の兆しが見られるものの、原発事故に伴う電力供給問題、欧米諸国における財政問題等を起因とする円高や株価低迷等による企業収益への影響が懸念されるとともに、個人消費におきましても雇用情勢や所得環境の厳しい状況下、消費者マインドが低水準で推移するなど景気は依

然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の改善を行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。売上高につきましては、震災後の展示会自粛の影響等もあり、きもの事業が2,869百万円(前回予想比:171百万円の減少)、ジュエリー事業が907百万円(前回予想比:43百万円の減少)、ファッション事業が1,116百万円(前回予想比:6百万円の増加)となり、合計で4,892百万円(前回予想比:208百万円の減少)となる見込みであります。営業損益におきましては、売上総利益率の向上と販売費及び一般管理費の削減に努力しましたものの、9百万円(前回予想比:9百万円の減少)の営業損失となる見込みであり、経常損益におきましても23百万円(前回予想比:3百万円の減少)の経常損失となる見込みであります。四半期純損益におきましては、特別損失に投資有価証券評価損8百万円を計上したこともあり、四半期純損失は32百万円(前回予想比:12百万円の減少)となる見込みであります。

なお、個別の修正理由につきましては、連結子会社は2社であります。その修正に及ぼす影響は軽微であることから、連結業績予想の修正理由と同じであります。

## 2. 通期の業績予想の修正について

欧米諸国における財政問題等を起因とする急激な円高進行や株式市況の低迷傾向は、経済への下振れ懸念として大きな影を落としており、また、雇用や所得環境の悪化による消費需要の低迷等も想定され、景気は引き続き厳しいものと思われれます。

このような状況下、当社の属するきもの業界におきましても、引き続き高額商品の需要低迷等厳しい市場情勢が想定されることから、売上につきましては下記のとおり修正を行うとともに、現市場状況を鑑みて引続き売上原価の改善、販売コストと組織の見直しを行うこと等により事業効率の改善に努める考えでありますが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成23年5月12日に公表いたしました通期業績予想を修正させていただくものであります。

修正した業績予想の製品分野別売上高は以下の通りです。

通期の連結売上高予想の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)(金額の単位:百万円)

	前回予想	今回予想	増減	増減率(%)
きもの事業	6,230	6,030	△ 200	△ 3.2
ジュエリー事業	1,890	1,800	△ 90	△ 4.8
ファッション事業	2,480	2,470	△ 10	△ 0.4
合計	10,600	10,300	△ 300	△ 2.8

なお、個別の修正理由につきましては、連結子会社は2社であります。その修正に及ぼす影響は軽微であることから、連結業績予想の修正理由と同じであります。

(注)上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上